

「2024年中国・浙江大学スプリングスクール派遣報告書」

京都大学法学部1年 唐 小雪

① 学習成果

今回の短期派遣を通じて、中国語そのものはもちろん、中国文化や異なる文化圏への理解が深まったと感じています。まず、中国語の面では、長期留学生向けの授業の最初の2週間に参加する形だったため、自分よりも中国語力や学習意欲の高い人たちに囲まれ、大きな刺激を受けました。そのおかげで、より授業の内容を吸収しやすかったと感じています。また、クラスにはさまざまな国からの学生が集まっており、彼らが英語と同じくらい中国語を使ってコミュニケーションをとっていたのがとても興味深かったです。全員が第一言語ではない中国語で会話する姿を見て、改めて新しい言語を学ぶことが新たな出会いや経験をもたらすのだと実感しました。文化学習の面でも、大きな成果を得られたと感じています。授業はほとんど午前中で終わったため、午後には街に出かけて、本場の雰囲気を感じることができました。以前、香港中文大学のサマースクールにも参加しましたが、香港では広東語が公用語のため、今回のように中国語を実際に街中で使うのは初めての経験でした。これまでの学習の成果を実感するとともに、今後の学習意欲もさらに高まりました。また、日本では中国に対してネガティブな印象を持たれがちですが、実際に現地で人々の優しさや自由でのんびりした暮らしぶりに触れ、それは実際に行き肌で感じないとわからないものだと感じました。今回の派遣を通じて、授業だけでなく日常生活の中でも中国語に触れることで、自分の中国語力の向上を実感できました。さらに、現地の自由な雰囲気や、周囲の目をあまり気にせず過ごせる環境がとても心地よく感じられました。普段、周りの目を気にしがちな自分にとって、このような環境に飛び込んでみるのも良いのではないかと考え、長期留学も視野に入れ始めました。

② 海外での経験

街中で中国語を使うと、「どこから来たの?」「中国語上手だね!」と明るく声をかけられることが多く、とても嬉しかったです。食事も安くて美味しいものがたくさんあり、毎日満喫できました。また、街のあちこちで日本のキャラクターや牛丼チェーンなど、日本の文化に触れられる場面も多く、国境を越えた文化のつながりを実感しました。

③ プログラム内容

授業は主に午前中に行われ、90分の授業が2コマありました。午後には、大学側が博物館やIT施設などに連れて行ってくれることもあり、旅行ではなかなか行けない場所を訪れる貴重な経験ができました。

④ 進路への影響

以前、香港のサマープログラムに参加した時と比べて、今回は街中で中国語を使う機会が増え、中国文化を肌で感じる場面も多かったことから、長期留学への意欲がさらに高まりました。また、将来的には中国文化の魅力を多くの人に伝えられるようになれたらいいなと思いました。